

## 令和4年度八頭町教育委員会 6月定例会 会議録

- 日 時 令和4年6月24日(金)午後1時05分～午後1時55分
- 場 所 八東庁舎 2階 第1会議室
- 出席委員 藪田教育長、山崎委員、上島委員、大上委員
- 欠席委員 谷口委員

### 報告

・報道もあったが、下校中の女子小学生334人を誘拐することに決定したと、ほとんどの県下市町村に同じメールが届いた。愉快犯だと思うが、住所は実在している。28日までは集団下校で対応しようと確認している。保護者にはマチコミ、文書で連絡している。現場も集団下校に引率して帰るようにしている。28日に関しては、警察も増員して警らしてもらえる確認をしている。

### 議案

議案第1号 八頭町就学援助費事務取扱要領の一部改正について

- ・附属小中学校に通う児童生徒のある家庭についても対応できるようにするもの。
- ・夏季児童クラブについても附属小学校の受け入れを行う。  
(委員)養護学校に通う場合はどうか。  
(次長)別の制度がある。
- ・全委員一致で承認した。

議案第2号 「町有財産」の引継ぎについて

- ・旧安部小学校が現在町の普通財産となっているため、八頭町芸術文化交流プラザとしてオープンするための事務手続き。
- ・校舎のみ教育財産とし、体育館は今まで通り普通財産のまま。  
(委員)管理はどこか。  
(教育長)社会教育課になる。  
当面は兼務でオープンし、来年から1人職員を充てるように考えている。  
(委員)使用料のことがあるが、どこに申し込めば良いか。  
(教育長)既に山本虎之助氏に貸し出しているので、部屋に応じた金額設定をしている。地区公民館として利用してもらえば良い。安部小プロジェクトは減免して対応しようと思っている。
- ・全委員一致で承認した。

その他

- ・八頭町民生委員推薦会委員について

山崎泰國委員に決定した。

- ・鳥取県市町村教育委員会研究協議会定期総会並びに研究大会の参加について  
2名の参加となっており、1名は教育長が事前の理事会に出席のため1人の参加をお願いします。

山崎泰國委員に決定した。

- ・子供たちの活躍について(令和4年東部総体結果)

- ・「令和5年八頭町はたちのつどい」について

成人年齢は18歳だが、成人式を18歳ではなく20歳で「はたちのつどい」という名称で行いたいが、どうか。

(委員)良い。

- ・新行政区の設置について

(委員)子供はいるのか。

(次長)現在は南ヶ丘と一緒に登校している。

(委員)八頭町立小学校及び中学校の通学区域に関する規則の改正をしないといけない。

(次長)久能寺のところも近々決まる予定と聞いている。

- ・八頭町小中学校育成事業補助金交付要綱の一部改正について(案)

八東・船岡・若桜の野球チームが県で3位になったので、西日本大会に出場する。まだ、案の段階なので決定ではないが、補助できるように対応していきたいと考えている。

- ・第15回森下広一杯 八頭町マラソン大会について

～別冊資料に基づき説明～

### 【委員意見等】

(委員)先日、水本氏に会った。旧安部小のプラザで世話になることがあればさせてもらいたいと言われていた。写真展で八頭町の良さを紹介する良いチャンスになると思う。町に貢献できることがあればやりたいと言われていた。八頭町のPRを町外の人からも見てもらって、良さを知ってもらえれば嬉しいと話をした。

(課長)既に、水本氏とは何度かお会いして、今年のオープンの時に安部地区公の会議室で何かしたいという希望で、八頭町を題材とした写真展にするか安部地区を中心にするのかも含め、オープニングに参入させてもらいたいという要望が一つ。

今後3年間についての希望を言ってもらって、版画、写真、絵画の部分で知恵を貸してもらいたい。書道やアニメ、プラモデル等、色んなジャンルのプロフェッショナルに企画の中に入れてもらおう仕掛けにしたい。

本人も企画実行の中に入れて欲しいという要望もあった。

別の方からも検討会があったら参画させてもらいたいと申し出もあった。  
(教育長)水本氏はフォトキャラバンを今年も引き続きやってもらおう。他にも色々なジャンルで撮りためておられるので、声をかけたらやってもらえらると思う。  
構想段階だが、学芸員も必要だと思うが、どう探してくるか。例えば、地域おこし協力隊が使えるのなら考え方としてもあると思うが、4年目以降どうするか。色々な作品があるので、専門的な目もいると思う。  
橋本興家氏のお孫さんから寄贈したいという話がある。刷り上がった版画が1,500枚、使用されていた道具等とあわせて保管させてもらいたいと考えているが、説明していく人財が必要だと思っている。  
手が付いていなかった分野なので、良い形でちょっとずつやっていきたい。